

令和2年11月29日
(一財)北海道アイスホッケー連盟
感染対策本部
本部長 石橋弘次

新型コロナウイルスの感染事例の紹介と更なる注意喚起について（通知）

◎道連加盟チームの中から、新型コロナウイルスの感染者が！

10月17日、道連加盟チームの中から、新型コロナウイルスの感染者がでました。症状は体調不良に続き鼻水・発熱等ということで、保健所に連絡、PCR検査で陽性が判明し、軽症者施設（ホテル）に隔離されました。

また、12日、13日とこの選手と食事を共にした選手1名も、濃厚接触者として検査を受け、陽性が判明し、同じく軽症者施設（ホテル）で隔離されました。

このチームの練習は同月12日（陸トレ）と13日（氷上練習）の2日間ありました。13日の練習には、OBチームの選手も加わり行われました。

◎保健所からの連絡

選手35名、指導者2名、マネージャー2名の39名が検査の対象となり、検査の結果、選手33名・指導者2名・マネージャー2名は陰性との検査結果が出ました。しかし、濃厚接触者の疑いがあるマネージャーを除く35名は2週間の自宅隔離となりました。

理由1）13日の試合中マスクなしの状態*プレーヤーズベンチに居合わせたこと。

理由2）13日の試合後マスクなしの状態でリンクサイドで大きな円陣ミーティングを30分間近く行う。

理由3）12日13日に同じ集団行動をとっている中で濃厚接触機会を作っている可能性がある。

つまり、控室・プレーヤーズベンチ・試合後のリンクサイドでのミーティングにより万一を考えて濃厚接触者にしたことと、試合後のミーティングで感染者2名がマスクをつけず、居た場所や隣の選手が分からなかった為、39名が検査を受け、マスクをしていたマネージャーを除く35名もの選手コーチが濃厚接触者として認定されました。尚、対戦相手のチームは、濃厚接触者に当たらないと保健所から連絡がありました。

◎今後の留意点

- 1 「アイスホッケー活動再開に向けた北海道ローカルルール」や「道連主催・主管大会 新型コロナウイルス感染症対応マニュアル」を熟読し、徹底を図る。
- 2 練習・試合などにおいて参加者名簿を各地区連盟または、リンクに提出すること。(氏名・電話番号)
- 3 ミーティング等は、Webで行うことが望ましいが、やむを得ない場合は、全員がマスクを着用し、密集を避け距離をとった状態で行う。
- 4 全員が濃厚接触者と判定されることは防げるためには、ミーティング時の着席位置を特定できるようにする。
- 5 あらゆる場面で*濃厚接触する機会を出来る限り回避する。
*手で触れることの出来る距離(目安1m)で、必要な感染予防策なしで、15分以上の接触
- 6 コーチ等のマスク着用は大前提。会話や指示は対面した状態を避ける。指示・コミュニケーションは作戦ボードを有効に活用するように配慮する。
- 7 ベンチ等では、空間中に飛沫が滞留しないよう空気の流れを作ること心がける。

以上